

EDS患者の皆様へ

このカードは、日本エーラスダンロス症候群協会（友の会）が、当会にご協力
いただいている医師のアドバイスを受けて作成したのですが、
あくまで一般的な情報に基づくものであり、必ずしも最新・正確な情報で
あるとは限りません。またその確実性・有効性を当会や協力医が保証するものでは
ありません。

エーラスダンロス症候群は、同じ型でも症状の出方が異なることが多いため、
カードをお使いの際は主治医とよくご相談の上、ご自分の症状に合わせて引き消し、
書き加えなどしてご利用ください。

このPDFは <http://ehlersdanlos-jp.net/> に掲載されているものです。
現在のところ印刷物やプラスチックカードなどはありませんので、
プリントしてご利用ください。
また、予告なく改訂することがありますので、ご注意ください。

ご意見や活用アイデアがあればぜひ info@ehlersdanlos-jp.net まで
お寄せください。

このカードがみなさまの生活のお手伝いとなれば幸いです。
どうぞお大事に！

日本エーラスダンロス症候群協会（友の会）

救命救急時要注意 このカードの携帯者には、十分な注意が必要です。	救命救急用情報 注：情報の記入に当たっては、かかりつけ医と相談の上 記入の事。
病名：結合組織疾患 エーラスダンロス症候群 血管型 (Ehlers-Danlos Syndrome EDS, Vascular type)	名前： <input type="text"/>
EDSは遺伝性の結合組織疾患の一つで、主にコラーゲンに関連する結合組織の先天性代謝異常が原因とされ、6つの型に分類されています。(古典型、関節過可動型、血管型、後側彎型、多発性関節弛緩型、皮膚脆弱型)	緊急時の連絡先： <input type="text"/>
・全身の結合組織が弱いため、動脈合併症(破裂、瘤、解離)、消化管破裂(S状結腸が多い)、内臓破裂(女性では子宮など)、血気胸、内頸動脈・海綿状静脈洞ろうなどを生じやすいとされています。 ・これらが疑われる場合、なるべく非侵襲的な検査(造影CTなど)で、迅速に、病状を把握し、治療方針を立てることが大切です。 ・詳細は、かかりつけ医にご相談をお願いします。	かかりつけ医情報 病院名： <input type="text"/>
Ver. 1 日本エーラスダンロス症候群協会(友の会) http://ehlersdanlos-jp.net	主治医名： <input type="text"/>
	連絡先： <input type="text"/>